

■親子のふれあいで「愛着形成」を

市の1歳6か月児健康診査で「言葉の遅れ」「落ち着きがない」など発達の様子が気になり、経過観察になるお子さんは全体の4割になります。

一方、ここ10年で発達障害（生まれつきの脳の障害）がある子どもの割合は一定であるといわれていることから、経過観察になるお子さんの中には、生活習慣の乱れ（早寝・早起き・朝ごはんを守らない）や、乳幼児期からのメディア依存を一因として「愛着形成」がうまくいかず、発達障害と同じような状態を示すケースがみられるといわれています。

《愛着形成とは》

「愛着」とは、子どもが身近な大人に対して持つ「心理的な絆」のことです。子どもが発するサイン（お腹がすいた・オムツを替えてほしいなどで、赤ちゃんが泣いた時など）に、親がタイミングよく目を合わせて、語りかけ・哺乳・スキンシップで応えてあげることの繰り返しで育まれます。

これは「愛着形成」と呼ばれ、心の安定の基盤となり、子どもの意欲を育むことと密接に関わります。

《アイコンタクトから始まる愛着形成》

赤ちゃんにとって、身近な大人と目と目で向き合うアイコンタクトは、信頼と安心の獲得につながります。



しかし、授乳の際、テレビ・スマートフォン・タブレットなどに目を向けていて、視線を合わせないといった子育てが大幅に増えています。

アイコンタクトは、子どもの愛着形成に大きく関与していることを意識しましょう。

《親子のふれあいを楽しもう》

- ♪ スキンシップする
(抱っこする、頬ずりする、優しくなでるなど)
- ♪ うれしい、楽しい気持ちの共有
- ♪ 一緒に歌う、絵本を読む
- ♪ パーフェクトでなくても、ほんの少しでもできているところを見つけて褒める
- ♪ 体と五感を使ってたくさん遊ぶ
(スマートフォンやテレビの視聴は注意が必要)

親子のふれあいを通した心のつながり「愛着」が、子どもの「安心して外の世界を冒険しよう」という意欲や将来の「他人との関係づくり」の土台を育みます。



■予防接種はお済みですか？

《幼稚園年長児対象の麻しん風しん第2期予防接種》

1歳の時に受けた麻しん風しん予防接種の抗体を確かなものにするため、幼稚園年長時に2回目の予防接種を行います。

近年、海外渡航者から麻しんの感染が広がる例も報告されています。まだ受けていない方は、早めに接種しましょう。



- 対象者
平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれの方
- 接種期間等
令和2年3月31日までに1回

《日本脳炎予防接種特例制度》

平成17年度から21年度にかけて、日本脳炎予防接種の積極的な勧奨が控えられていた時期に、接種対象となっていた方に対して特例制度が設けられています。

特に、現在高校3年生で未接種分がある方は、進学などで地元を離れる前に接種しましょう。



- 対象者
平成11年4月2日～平成19年4月1日生まれの方
- 接種期間等
20歳になる前日までに合計4回

☎健康増進課（中央保健センター） ☎2112

■未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の申請

11月分の児童扶養手当受給者のうち、婚姻歴がないなどの要件を満たす方に対して、臨時・特別給付金が支給されます。

申請書等は児童扶養手当現況届に同封しましたが、該当するのかわからない、書類を紛失したなど、お困りの点がある場合は、お問い合わせください。

- 申請期間
令和2年1月31日(金)まで
- ※これまでに一度でも法律婚をしたことがある方は、該当しません。独身であるだけでなく、現在まで未婚であることが必須条件です。

☎本庁舎こども支援課 内2733

成長に合わせた情報が届く！予防接種の記録ができる！ etc.

子育て支援アプリ「ぽっかぽか」

▼ダウンロードはこちら

